



月刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 (鉄電) 千葉2935・2939番番番番

(公) 043(222)7207

FAX 043(224)7197

2000.9.28 No.5200

「シニア制度」一検修全面外注化阻止！

闘争宣言発した9・26動労千葉総決起集会

「シニア制度」一検修・構内作業の外注化阻止！
9・26動労千葉総決起集会において開催された。

一〇四七名の解雇撤回闘争 検修合理化・シニア制度粉碎の闘いを軸に闘い抜こう！

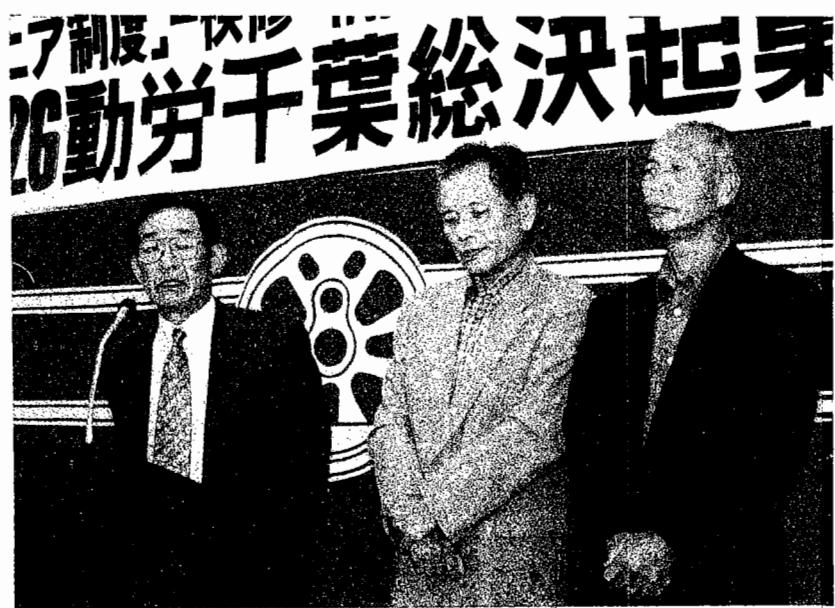
集会は、冒頭、本部・中野委員長が登壇し、「九月一三日に、検修大合理化の提案があり、シニア制度が具体化してきた。三名の仲間にに対する差別に対し、不当労働行為で労働委員会へ申請している。年配の組合員を守りぬき団結力を示していきたい。闘いの第一の柱は、一〇四七名の解雇撤回闘争をめぐる動向であり、二回の臨大で通らなかつた四党合意一票投票の実施となつていて、その内容は、JRに法的責任がないことを認めるとする内容だ。これは労働組合への支配介入であり、その存在すら認めないとすることだ。

一票投票という民主的形態をとつていて、そのようにみえるが、規約にはないものだ。一〇四七名闘争をわれわれも今までとは違つた立場で臨まなければならない。闘いの第二の柱は、検修合理化・シニア制度に対する闘いだ。九月一三日に提案された中身は、保守部門の全面的な外注化となっており、六〇才に到達した順位外注していくといふものであ

り、施設部門では三〇〇〇名が職場を失う。シニア制度は年金制度を悪用したものだ。東日本千葉総決起集会が、動労千葉会館において開催された。

〇才以上の労働者を雇わないというものであり、労働者だけが損する制度だ。これにより出向制度もなくなるなど選択肢がなくなつた。六〇才になつて再就職時に試験を行う。組合所属によつてそれすら行わない。鉄道で働いて四〇年にもなる労働者に対しても、なぜ試験をやらなければならぬのか。人の道に反している。呑める内容ではない。なぜ分割・民営化に反対したのかが問われるものだ。あらゆる手段を講じて「反撃する」とあります。

続いて、弁護団・佐藤弁護士より、法的観点からシニア制度に対する違法性が明らかにされ、労働大臣への誓願、労働委員会へ申請を行つたことが表明された。



斎藤会長

羽鳥さん 三平さん

各支部決意表明



シニア制度・検修・構内作業の外注化阻止
9·26動労千葉総決起集会

名を支えながら闘つていきたい
、続いて、当該の三名より「組合差別により、再就職先を拒否された。JR当局に怒りを持つている」と力強い決意を受けた。

自らの職場を守つて闘おう！ 検修合理化・全面外注化阻止！

集会は、さらに検修部門から特別報告として、要員のいない実態が明らかにされ、怒りの決起が訴えられた。

反対の意思表明、本部・田中書記長より基調が提起され、今後向こう一年間、自らの職場を守りぬく闘いへ、今日を出発点としようとした全体が確認した。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！